

市長から 市民のみなさんへ 53



山陽小野田市長 白井 博文

敬老祝金支給条例を廃止しました

下記にありますように、3月議会から懸案事項であった「敬老祝金」を廃止する条例が6月議会で可決されました。急速に進展する高齢化社会へのきめ細かい対応が叫ばれる一方で、地方財政は年々厳しさを増しています。山陽小野田市も“崖っぷち”予算の中で、現行の福祉サービスの水準を可能な限り維持していくためには、思い切った“選択と集中”を行うしかありませんでした。結果、福祉事業の“本丸”と言える部分については、何とか踏みとどまることができたのではないかと考えているところです。

敬老祝金の制度は今年度から廃止になりますが、新たな試みの一つとして両商工会議所のご協力を得て、「敬老祝事業」を進めているところです。今回の件について、様々なご意見があるでしょうが、市民のみなさんのご理解をいただけることを願っています。

山陽地区の「対話の日」に 河合病院事業管理者も同席します

2007年度末の決算で約9億円の不良債務が予想されている山陽市民病院ですが、健全化計画が終了する20年度末を前に、存続、民営化、縮小、廃止など、一定の結論を出す時期が迫っています。そこで、病院の現状説明を行い、それに対する地域のみなさん

敬老祝金支給条例が 廃止されました

9月の敬老の日を祝し、市から満85歳・95歳・100歳以上の高齢者の方に支給していた敬老祝金の制度を今年度から廃止することにしました。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】高齢障害課 ☎ 82-1171

対話の日 【いずれの会場も19:00から】



7月26日(木) 下木屋自治会館
8月 9日(木) 平沼田自治会館
8月23日(木) 浜河内自治会館

※山陽地区は河合病院事業管理者が同席します。

の声をこれからの方向性を検討するうえでの参考にしたいという、河合病院事業管理者自らの申し出により、月に2回行っている「対話の日」の山陽地区開催分について、河合管理者が同席することになりました。

山陽市民病院の問題は、目下の山陽小野田市の抱える最大の難題の一つです。多くの方に参加していただき、現状を理解された上で、ご意見をお寄せいただける場となることを期待します。

"山陽小野田っ子"大活躍!!

表紙でご紹介のとおり、小野田高校男子ソフトテニス部と少年野球の厚狭ツイスティングが全国大会出場を決めました。このような明るいニュースを市民のみなさんにご報告できることを市長としてたいへんうれしく思います。最高の舞台で、持っている力を最大限に発揮されますよう健闘をお祈り申し上げます。

他にも、昨年の本山小学校の30人31脚の全国大会での上位入賞、先日広報でお知らせした「ちびっこ相撲」の全国大会出場、そしてスポーツではありませんが、アメリカで行われる国際学生科学フェアに参加する厚狭高校生物部など、市内の児童・生徒の“快挙”が続いていますが、これらの要因の一つに昨年導入した「生活改善・学力向上プロジェクト」が多少なりとも影響しているような気が致します。科学的な裏付けがあるわけではありませんが、音読、百ます計算などをクラス全員で取り組むことにより、知らず知らずのうちに規律、規範を身につけ、また目標に向かって努力する“心の強さ”も生み出しているのではないかと、ひそかに分析している次第です。

今後も市内のすべての児童・生徒の心身が健全に成長し、明るいニュースがたくさん飛び込んでくることを期待しています。